



吉田地区 住民自治協議会だより

60号

キャッチフレーズ 「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

発行責任者 水内 和義

編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会

事務局住所 長野市吉田3-22-41 ノルテナがの2階

TEL 026-263-6224 FAX 026-266-0371



2026 吉田ふるさと夏まつり

第51回 吉田びんずる

第19回 何丸踊り



7月25日 (土)

公民館委員会

7月25日、吉田ふるさと夏まつりが開催されました。

夏まつりは「まつりの部」と「おどりの部」で構成されています。

「まつりの部」は、吉田3丁目交差点から北国街道入口交差点までの市道（旧本町通り）を12時から歩行者用通路として交通規制をかけ、吉田商工振興会が中心となって、大道芸イベントや露店、キッチンカーによる販売を行いました。

「おどりの部」は、吉田高校東交差点から吉田小学校前交差点までの県道を17時30分から歩行者用道路として交通規制をかけ、公民館委員会が運営を担当して、吉田びんずる・何丸踊りを行いました。

「おどりの部」の参加連は、町連16、企業連1（吉田地区金融団）、学校連1（東部中）の計187連が参加、1,200名を遥かに超える皆さんに踊り手として参加いただきました。

各連とも元気に踊り、子どもたちの大きな掛け声も響いて、とても楽しそうに踊っているのが印象的でした。観客の方々も多く集まって、大盛況のうちに終了しました。

各連の役員の皆さん、警備などお手伝いいただいた各団体の皆さん、設営から運営・片付けまで担当いただいた主事の皆さん、ありがとうございました。

地区で開催するイベントが減る傾向にあります。いざ災害というときに、みんなで協力できるよう、地域の皆さんが集まる機会は無くしてはいけないと思います。

来年もまた開催しますので、多くの皆さんの参加をお願いいたします。

公民館委員長





まっりの部



環境美化委員会

ながの環境エネルギーセンター・

長野市資源再生センター視察研修

令和8年7月23日（木）、総務委員
会（区長会）・環境美化委員会合同の、
ながの環境エネルギーセンター研修会
が行われました。

ノルテ玄関13時長電バスで出発、13
時30分、松岡長野環境エネルギーセン
ター到着。担当者の方に案内され、映
像にてエネルギーセンターの説明があ
りました。この施設では可燃ごみを焼
却、出た灰を資源化灰と資源不適灰に
分け、また焼却時の排熱回収、ボイラ
を設置し高圧の蒸気でタービン発電、
施設内で使用、外部送電も行っていま
す。温水はサンマリーンの温水プール
に使っている等の説明後に、施設の見
学をしました。ゴミをピットへ投入する
プラットホーム、ごみピット内のゴミを
攪拌、ごみを焼却炉ホッパーへ投入す
るごみクレーン、焼却炉、灰溶融炉で
は溶融で出たスラグはコンクリート二
次製品、鉄・アルミ等は資源化、蒸気



タービン
発電機等
を見学。
焼却によ
り発生す
る灰より
スラグ等
の70%以
上が資源
化されて
いました。
大気汚染
について
は国が定

める公害
防止基準
を上回る
運転基準
で高さ80
メートル
の煙突か
らは水蒸
気のみが
排出され
ている素
晴らしい
施設でし
た。



続いてプラスチック、ペットボトル
処理施設へ移動し、エアコンの無い扇
風機だけの部屋へ案内され施設の説
明。今年4月よりプラスチックの出し
方が変わり、そのことを質問。回答
は、資源プラスチックの持ち込まれる
量は以前と変わらず不燃物が2割少な
くなったとの答えでした。処理施設棟
では黄色い資源プラスチック袋を破碎
しコンベアーへ。そ
こでは4名の作業員
の方が火ばさみを持
ち異物を素早く拾い
出しプラスチック圧
縮機で梱包していま
した。ペットボトル
も同じ工程との説明
でした。前回見学し
た時より作業員の方
の負担はシステム変
更で大きく軽減され
た感じがしました。
更なる分別をよろし
くお願いします。
環境美化委員長



福祉委員会

「生き生き暮らしのマップ」

検討委員会から

毎年行政機関、総務委員会、福祉委
員会、民生委員・児童委員協議会、各
区福祉推進員、介護事業所、医療機
関、薬局など関係者約100名が一同
に集まり、福祉活動情報交換地域ネッ
トワーク会議を開催しております。そ
の中で吉田地区内での困りごとを出し
合い、解決策を出し合うなどしており
ますが、自分の地区内にどんな施設が
どこにあり、またどう利用していくか
など課題があります。安心して暮らし
る防災施設や避難所などが一目わか
るものがほしいとの意見も毎回多数寄
せられます。また、吉田地区では大型
商業施設の撤退や新規開店もありま
す。地区転入者の増加などにより吉田
地区内の社会資源活用を広く周知して
いくことも必要となっております。

今までも吉田地区には「生き生き
暮らしのマップ」というものが作成さ
れておりましたが、作成後10年以上が
経過し存在すら知らない住民も多くい
らっしゃると思います。第三次吉田地
区地域福祉活動計画にお
いては、このマップの改
定が計画されていること
から今年度作成すること
となりました。安心安全
な地域を作るには、まず
自分たちの町を知り、住
民同士が繋がることが必
要不可欠です。
長野市の「ながのまち
づくり活動支援事業」補
助金を活用し、「生き生き



暮らしのマップ」制作事業として取り
組んでおります。この事業では、ただ
マップを制作するだけではなく、作る
過程を大事にして、住民みなで作る
マップとしていきます。そのために住
民アンケートを実施し、暮らしに役立
つ情報や安心して暮らせる、そして地
元が活気づくような安全で豊かな吉田
地区のツールのひとつになればと思っ
ております。

住民アンケートは各地区の福祉会長
を通じて配布されるほか、吉田地区住
民自治協議会事務局にてごなたもご記
入いただけます。是非、たくさんの方
様の意見を聞かせただけです。現在、
東部中学校の生徒の皆さんをはじめ約
1000名の住民の皆様のご協力をい
ただいております。アンケートを通し
て多くの方に地域活動へ参加してい
ただきたいと願っております。こうした
関わりを通じて住民自治協議会をより
身近な存在に感じていただければ嬉し
いです。皆さんの声が集まるほど素敵
なマップが完成すると信じておりま
す。皆様のお手元に届く日をお待ちく
ださい。

公民館委員会

吉田町成人野球・ソフトバレーボール大会

6月7日、吉田町成人野球・ソフトバレーボール大会を、県営球場と運動公園体育館を会場にして開催しました。野球の参加チームが減少する中、他の町の野球好きに声をかけて3チーム編成してくれた町があり、昨年より2チーム増えて7チーム、ソフトバレーも昨年より増えて9チームが参加してくれました。

野球がやりたい、バレーボールをやりたいという皆さんがいる以上、何とか大会を存続したい思いに駆られました。応援の方々も多く来ていただき、今年もいい交流になったと思います。

熱戦の結果、野球は桐原、ソフトバレーボールは中越Bが優勝しました。

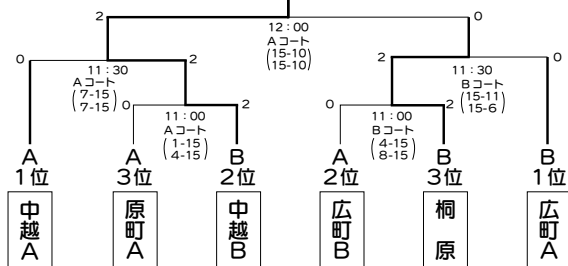
選手の皆さん、お疲れ様でした。選手集めをされた各町の皆さん、また、早朝より大会運営に携わってくださった、審判・役員の皆さん、誠にありがとうございました。

公民館委員長

ソフトバレーボール

決勝トーナメント

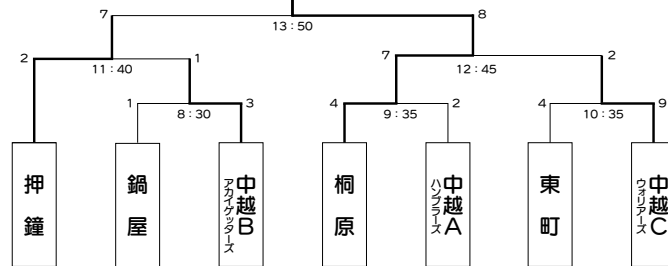
優勝 **中越 B**



◆ 大会結果 ◆

成人野球

優勝 **桐 原**



「吉田地区住民自治協議会だより」第六十号をお届けします。今夏は暑さに加え、雨が少ない夏となりました。これから作物の収穫時期を迎えるにあたり影響がなければ良いが、と思います。

「二〇二六吉田ふるさと夏まつり」が暑い夏空のもと、多くの皆さんの参加で実施されました。本号は恒例となった何丸踊りや屋台店などで賑わった夏のいちにちを中心に掲載しました。子ども達をはじめ皆さんにとって良い思い出になると思われます。

これから秋を迎え、吉田町民大運動会等各委員会が企画するイベントが計画されています。一人でも多くの皆様のご参加とご協力をお願いします。

(編集委員会一同)

編集後記

◆ 今後の行事予定 ◆

- 10月4日(日) 第100回吉田町民大運動会 吉田小学校
- 10月17日(土) 第5回福祉・健康フェスタ ノルテナがの多目的ホール
- 11月8日(日) 第40回吉田町文化祭 ノルテナがの吉田公民館
- 11月15日(日) 吉田こどもオータムフェスタ ノルテナがの多目的ホール
- 10月14日(水) 11月11日(水) 健康づくり運動教室 ノルテナがの多目的ホール
- 12月9日(水)